

令和4年度 第1回まちづくりミーティング

日時：令和4年8月1日（月）10：15～11：00

場所：福知山市役所3階 301会議室

団体：京都生活協同組合 両丹ブロック

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMによるオンライン形式で実施

○主な話し合いの内容

市長： 京都生協様とは定期的にまちづくりミーティングを実施させていただいており、前回は令和3年8月23日に、福知山市の防災などをテーマに懇談をお世話になった。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンライン形式で行ったが、今回は面談して意見交換できることになり、楽しみである。

本日は、京都生協様の昨年度活動報告をお聞かせいただき、その上で「福知山市での配食事業展開」を主なテーマとして、懇談させていただけると聞いている。

高齢化社会の進展にともない、買い物や調理が困難な高齢者が増加する中、十分な栄養を摂取するための食環境の維持・改善は地域社会の課題と言える。

また、新型コロナウイルスの影響で自宅療養を余儀なくされる方をはじめ、様々な家庭事情から栄養管理が十分にできない方々への配食など、食を通じて多様な市民への健康支援を行っていくためには、行政のみならず、京都生協様をはじめとした民間事業者の皆様の取組が非常に重要である。

行政としてできうる部分や事業の強化及び推進に向けて、皆様と膝を交えて率直に意見交換し、福知山市の将来に向け有意義な場にしたいと願っているのによりしくお願いする。

団体：～京都生活協同組合両丹ブロックの昨年度活動状況及び今年度重点課題、併せて通常総代会議案書の説明～

【説明に関する意見交換】

市長： エシカル商品は、どこも少し高額になる傾向があるため、付加価値を求められる方が多いと思うが、会員の皆さんの認知度はどれくらいか？

団体： 具体的な普及に取り組み始めたのは6～7年前であるが、宅配事業のカタログ等の中で、エシカル商品のマークの説明やクイズなどを記載し、肌感覚では年々認知度が上がっていると感じている。会員の皆さんの中でも、商品の意味合いを理解して選択したいという意識の変化も感じられる。

市長： フェアトレードの観点なども、消費者の選択肢として重要と思う。
プラスチック削減の関係については、やはり袋が多いか？

団体： 包装容器が一番多い。

市長： 取引事業者の方も含め、社会全体が変わらなければ削減は難しいと思う。市でも、ごみ袋をバイオマス原料使用のものに変えたが、結局海外からの原料輸送でCO2が排出されているなど、全体として環境にとってプラスなのかという問題もある。

団体： 安全性という点においても、プラスチック以上の素材としてふさわしい素材の選択が難しいという問題もある。いずれにせよ一足飛びではなく、目標を定め、

少しずつ減らしていくことが重要と考えている。

市長： 取組まれること自体が素晴らしいと思うので、市でも参考にしていきたい。

○懇談テーマ「福知山市での配食事業展開」

団体： 生協で訪問させていただいている高齢者の方などを中心に、配色サービスのニーズの高まりを感じている。高齢者に限らず、子育て世代など幅広い世代向けの配食・食材配送サービス等を、京都府北部でも検討している。福知山市でもいろいろな配食に関わる取組みをされていると伺っているので、意見交換を行いたい。

市長： 現在行政自体が関わっている事業としては、高齢者・障害者の皆様に対し、配送料を市が負担する配食サービスを行っている。福知山市は広域なので、いくつかのブロックに分けて、入札により決定した事業者の皆様へ配食をお世話になっている。もし今後、そういった分野への参入を考慮されるのであれば、市の取組みとしてそういったものがある事をご理解の上、御検討いただければと思う。

またスポット的な話ではあるが、新型コロナウイルス感染症にかかわって、市独自で、自宅待機している感染者に対する無料配食サービスなども行っている。

生協様が始められようとしているサービスは、今、求められている方が本当に多いと思う。今後、一人暮らし高齢者世帯の増加が予想される中、一人分の食事の準備は効率等を考えれば負担も大きく、買い出しの難しさやフードロスなどの問題もある。食材を配送されている生協様が配食も検討されているということは、そういった方々にとって選択肢が広がることになると思う。

一方で、食べ物はそれぞれ嗜好やアレルギーなどはあるかと思うので、そこにどこまで対応されるかについても課題になる。

団体： 京都生協としては南部、例えば伏見区などで既に配食サービスを展開しており、多くの方に利用いただいている。メニューへのリクエストなどもあるが、例えばひな祭りの特別メニューなど、ご希望を聞いて可能な範囲で反映もしている。ただ、配達への逼迫も起きており、配達者の人数が確保できないなどの課題もある。

市長： 伏見のような人口集中地域と比べ、福知山市は市域が広いので、配送に時間を要するという点で、効率性に課題があると思う。

団体： まず北部で始めるにあたっては、中丹ブロックとして100食を目標としている。弁当の配食だけでなく、食材の宅配と一緒に行うことで、効率を上げたいという思いもある。

市長： 配達員の方の確保も本当に大変かと思う。食材配達とセットにされることで、効率は上げられると思う。

